

令和2年
5月15日

沖縄地方は梅雨入りですね。

昨年の梅雨入りは？昨年の九州北部の梅雨入りは6月26日、平年より21日遅く、統計がはじまった1951年以降で最も遅い記録だったそうです。

今年の梅雨入りはどうか？6月5日頃と気象庁が予測しています。しかし、実際の梅雨入りの発表はかなり慎重に行われているようです。梅雨入りの発表には、いくつかの条件があるらしく、梅雨入り発表後に訂正された年もあるそうです。

ところで、「梅雨（ばいう）」という言葉は、平安時代に中国から日本に伝わり、江戸時代頃に「つゆ」と呼ぶようになったそうです。「つゆ」という言葉がつかわれる前は、五月雨といわれ陰暦の五月ごろに降る長雨のことで、現在の6月頃の梅雨のことを指しているそうです。

これからの季節は、大雨、洪水、落雷などの注意報、警報を確認しながら運営を行っています。また、タイヤの溝、ワイパー、ガラスの水はけ、傘、カッパなど車両点検と道具のチェックを行い、安全に送迎できるように準備していきたいと思えます。

緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ生活や行動は制限されたり、不安なところが残ります。専門家からは「新しい生活様式」の提言が示されています。手洗いやマスク、換気、人との距離、検温などです。すでにかなりの方が習慣になっている部分です。一方、食事は横並び、帰省や旅行は控えるなど習慣化するのに難しい部分もあると感じています。

デイでの外出や調理訓練など集団での行動は今後も控えていくのでしょうか？国や県の見解を参考にしながらすすめていきたいと思えます。

ジメジメした季節が来ますが、食中毒や熱中症に注意しながらからだに気を付けてのりきっていききたいと思えます。

ご利用者さま。最近では、手洗いやうがい習慣化しています。また手指消毒は車の乗車時、デイ入室時、その他頻繁に行っています。マスクの着用率も上昇しています。今後ご利用者と一緒に感染に注意しながら筑後カレッジでの生活を楽しくしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



スマイルケアプラン
サービス。

クイズ。雷について。さて日本で年間の雷の発生日数がいちばん多い県はどこでしょうか？ヒント。福岡県は25日程度。東京は13日程度。こたえは、42日で石川県です。太平洋側と日本海側では、発件数に差があり、福井県や富山県、新潟県で多く発生しています。また太平洋側は夏に発生することが多く、日本海側では逆に冬に多く発生するそうです。雷は地形に関係し、日本海側の北陸地方に集中するそうです。さらに冬の雷の方が威力が大きいそうです。このデータは、30年間の平均値でした。最近の傾向はわかりませんので。